

11 | No.595
NOV.2020

茨城経協

Ibaraki Employers' Association

<https://www.ikk.or.jp> Email info@ikk.or.jp

一般社団法人茨城県経営者協会



高萩市 花貫溪谷の紅葉



茨城経協

CONTENTS

01 トップインタビュー Vol.41

「いかに変わりなく、お応えする技術のゴーイングコンサーン」
北村製布株式会社 代表取締役社長 北村 英明 氏

05 令和2年度 第3回理事会開く

06 委員会報告

政策委員会／産業政策委員会／環境委員会／経営教育委員会
青年経営研究会

08 支部報告

県北地区支部／支部共催セミナー

09 慶事のお知らせ

10 令和2年度 特定(産業別)最低賃金が決定

11 茨城労働局より「新しい働き方と労務管理のポイント」

12 最近の労働判例から (一社)日本経済団体連合会 労働法制本部

13 偏屈爺の甘辛放談⑨

「米大統領選にもの申す＝民主主義を守り抜け」
＜茨城新聞社社史編纂室(元論説委員長) 小沼平氏＞

14 <寄稿>

寄稿 日本貿易振興機構茨城貿易情報センター所長 木ノ本知弘氏
「県内と海外をオンラインでつないでコロナ禍でも茨城を元気に」

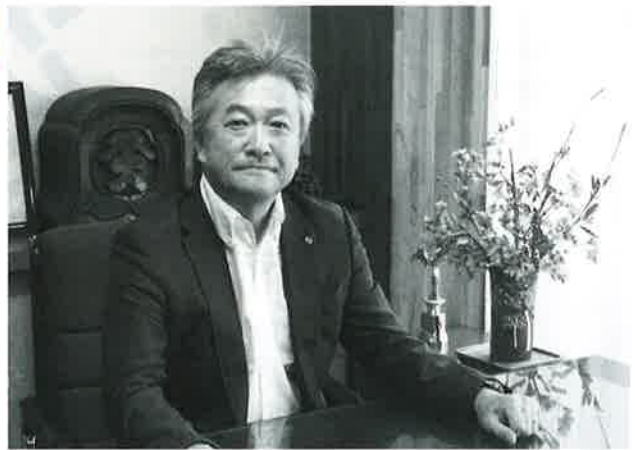
15 NPO情報Vol.240

＜茨城NPOセンター・コモンズ代表理事 横田能洋氏＞

北村製布株式会社
代表取締役社長

北村 英明氏

聞き手：葛田一雄氏（ケイツーマネジメント代表）



会社概要

■所在地：常総市水海道宝町3390

■資本金：5千万円

■事業内容：液体、粉体用フィルター、エアフィルター、カートリッジフィルター、濾過助剤、作業・事務服、その他産業資材用繊維用品を扱っている

■ホームページ：<http://kitamura-seifu.co.jp/>

いかに変わりなく、お応えする技術のゴーイングコンサーン

1. 世紀を超えて

（葛田）職場と事務所周りを拝見して、社長室、事務所そして工場いずれも5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）のアクティビティがいきわたっていました。世紀を超える会社の物づくりの基盤に5Sがあると思いました。作庭も見事です。

（北村社長）1918年創業です。私で6代目になります。工場の近くに報国寺という寺がありますが、父はそちらの檀家総代をさせていただいています。整理整頓は寺の教えのお陰ですかね。庭の石は筑波石といいまして、今となっては結構貴重な石と聞いております。今はもうほとんど採れなくなっているそうです。

（葛田）私の名前の頭文字は、秋の七草の「葛」です。日本の古代の織物に葛を編んだ布がありますので、御社の製品「濾す布」にかねてから共感していました。

（北村社長）葛布（くずふ）で

すね。確かに私どもの濾過布と共通していますね。光や音や液体など流れるものを、こしたりふるい分けたりする装置を濾過（ろか）器といいます。濾過に関する事、布に関する事は何なりとお気軽にご相談ください。これが私どもの姿勢です。

（葛田）事前に資料を拝見して、物づくりで最も重要な大事なものがクオリティ、それからもう一つはコストではないかと思ったのですが、いかがでしょうか。

（北村社長）国内向けのものばかりではなく諸外国の仕事もしていますので、他国のものと対抗するためには、コストの面だけでは限界があります。「日本製はいいね、倍の値段だけれども、各段に長持ちしたよ」、というケースもあります。品質の維持および向上を念頭に置いています。値段に見合う品質を提供したいと常に考えています。

（葛田）裏漉し（うらごし）な

どという言葉もあります。水をこすとか、越えるという言葉も同言ですから、ゴーイングコンサーン、孫子の代まで事業をさせるという、強い覚悟があつての物づくりだったのではないのでしょうか。

（北村社長）裏漉しはこの家庭でも行っていましたが、今は見かけなくなりました。裏漉しは、枠に目の細かい網を張ったもので食材を細かくする作業、そのための専用の調理器具です。器具を裏漉し器ともいいます。網は本馬毛、絹、ステンレスなどがあります。目の細かさは荒目から細目まであり、箆（ザル）や篩（ふるい）を裏返すことで兼用できるものもあります。

うちは第一次世界大戦終了前後の創業ですが、その時期は糸偏の繊維産業が花盛りでした。ナイロン、ポリエステル、ポリプロピレンなどの合成繊維がなかった時代です。綿、絹、麻などの天然繊維がメインで、そういったものを利用した製品でし

た。昔は、郵便行囊といまして、サンタクロースの袋ではないのですが、郵便配達の方が使う麻の袋を織ったりしていました。軍人さんの脛当て用の生地なども作って、官需が主だった時期もあったようです。糸偏ということでは変わりはないのですけれども、濾すことを事業にしたのは、ここ百数年の中で60~70年くらいです。生活必需品の調味料やお砂糖などのろ過に携わったのが濾過布としての始まりです。

2. 二人三脚(B to B)の成長

(葛田) 社長室のドアを開けて、目に飛び込んできたものが「茂木さん」の資料です。

(北村社長) キッコマンさんです。かなり長い付き合いをさせていただいております。事業の太い柱です。野田醤油という醤油会社が前身の会社なのですけれども、設立する際に野田の数十ある醤油屋さんの中から13の醤油蔵が結集されました。野田醤油様より以前から取引させて頂いていた先もあります。法人とのお付き合いが密になったのは私の三代目前くらいからです。

(葛田) キッコマンさんも、ろ過無かりしば、ということがお有りになるでしょうね。良い

品質の製品を作るためには企業間の連携が単に利益に結び付きではなくて、もっと深い部分で結び付いているということですね。

(北村社長) 醤油はもちろんですが、日本酒も同じことが言えます。ビールやコーラなどの清涼飲料水、そういったものは安全が第一です。それに日本酒や醤油は味がプラスアルファとして必要になります。汙布には均一的な高い性能が要求される部分です。お客様が要望されるものを、「いかに変わりなく」供給できるか、です。「今度こういう布ができないか」に的確にお応えする技術といたしますか、応用力といたしますか。それが一番要求されてきたことです。

(葛田) 社長室の入り口に七福神の布袋様がいらっしゃる。守らなければいけないことがあるという覚悟とも思いますが。

(北村社長) お客様のご要望にお応えすることは当たり前です。お客様の発展なしでは我々の発展はあり得ません。お客様の発展の一助になるものが提供でき

れば、我々もお客様と共に発展できます。「キタムラさん、今までは100で買っていたものを90ぐらいで供給できないかな？」という話になったときに、「いや、そうはできません」、無碍にはお断りしませんが、そのようなことばかりをやっていたら、大事なお客様との長いお取引引きは永続できません。品質の維持にはそれなりのコストが掛かるのです。

お客様の危機にお応えすることもありましたし、もちろん発展に応じて成長させていただいたこともあります。事業とは、紆余曲折に如何にお応えできるかということだと思っています。事業間連携あるいは共生ではありませんが、その部分が無かったなら、良いときだけの付き合いになります。長い付き合いをすることは、お相手の企業さんがどちらであっても、必要なことであると思っています。安価



北村社長と葛田氏

濾過布の素材として、現在多用されている繊維は、それぞれに優れた特性を備えています。

◆ナイロン

ポリアミド系の繊維で抗張力、耐アルカリ性にすぐれ、化学工業関連、工業排水関連、鉱石の選別、食品関連等に使用されます。耐熱性に多少劣り、水分を含むと伸びる性質があります。

◆ポリエステル

耐酸性、耐熱性、寸法安定性に優れ、乾式集塵、食品関連、鉱山関連、化学工業関連、水処理等に使用されています。

◆ポリプロピレン

耐酸、耐アルカリ、寸法安定性に優れ、吸水性が殆んどないため濾過効率が大きく、ケーキの剥離も大変良好です。耐熱性には劣りますが化学工業から食品関連等、幅広く使用されています。



なものに魅力を感じて購入し、悪かろうに気づかず結果的に大損をしたケースはお客様でもありましたし、当社でも経験しています。“安かろう悪かろう”は、決して良い結果を生みませんし長続きしませんね。

3. ろ過布を極める

(葛田) 光とフィルター、音とフィルター、匂いや香りやフィルター。そういうものは事業にはなりにくいものなのですか。

(北村社長) 匂い・香りやフィルターですが、例えば、日本酒などはとても繊細な飲み物です。酒蔵の杜氏さんたちは、ものすごく香りというものを気にされています。失敗談としては、合成繊維になった当初は、あれは原油といいますか、複雑な分子構造の組み合わせでできています。したがって、いろいろな油剤などを使って合成繊維というものは作られています。それを使ったらろ過布で日本酒をろ過したら、極めていない我々には、分からないのですが、分かる人には分かるのです。杜氏さんなどのプロが口に含んだときに「少しおかしい。」ということになります。「もう少し洗浄をしっかりとしてくれないか。」とか、そういうご指摘を受けたこともあります。逆にビールや清涼飲料水の原料にも一部入っている糖液などは、活

性炭を使って匂いを消すこともやったりしています。

(葛田) 事業として最も継承してきた領域、さらに成長させていく領域を差し支えない範囲で伺いたいのですけれども。

(北村社長) 醤油、調味料、豆腐や日本酒などは伝統的な日本の食べ物です。長い間、柱にしてやってきて、現在もやっています。それらを継承・発展させることは当然です。そこには“安全第一”が必須条件です。今やグローバルになってきているので、和食ブームに乗って日本酒などもかなり外国に出ています。醤油などの調味料もかなり海外に出回っている状況です。北米・ヨーロッパ・アジアはもちろん南米、オーストラリア、アフリカまでいきわたっています。もはやグローバル調味料です。ハラールが代表的な例ですが、その国の文化・法令などに適合することも求められています。

それと、ミクロン単位、ナノ単位のろ過が要求されている世の中になってきていますので、微小なものも捕捉が出来るような、そういったものが布にも求められてきているという感じがしています。

(葛田) 挑戦なさろうとしている技術、あるいはそのために社員を育成していることなどをお伺いします。

(北村社長) 中島みゆきの「糸」という歌ではないですけども縦の糸と横の糸を絡ませて作るのが布です。織られた布は、誰かの心を温め得るかもしれません。布の材質から始まり、

糸の材質、太さ、それと織度を掛け合わせて、いかに安全で均一なものを作っていくかが、市場からの要求です。安心・安全という要求に応える体制作りが生き残るためには必須であると思っています。OJTが主な教育の場となっていますが、社内的には「自分が使う立場になった時に少しでも首をかしげるようなものは出荷してはならない」、万が一クレームが発生したら、社内では大騒ぎをして製造に関わった人間全員で原因究明・再発防止策を再確認することにしています。

(葛田) 企業機密かもしれませんが、ここが正に「凛とした背骨」といいますか、伺いたいと思います。

(北村社長) 例えば、お茶もジュースも然りですが、醤油も日本酒も今日作ったときと明日作ったときで違うものができてしまったら話になりません。高品質をいかに維持できるかというのが、ろ過に関する一番の課題です。機械に付随している汙布というフィルタークロスがもろみや原料の液体と直に接するわけです。実際にろ過するのは機械ではなくて、汙布です。汙布があってそれを動かすための機械があるわけです。

いい加減な汙布を作ってしまうと、お客様が今日作るものと明日作るものでは品質が違ってしまうこととなります。生産量にも影響が出てしまいます。寿命が短いと頻繁にラインを止めなければなりません。当社は布生地を製織する工場・縫製加工をする工場をどちらも有していますから、全て自社内において一貫生産が可能です。

糸の購入以降の『撚糸』『整経』『製織』『ミシン縫製』から完成までの工程を全て自社内で行っております。他社から生地

を購入して自社内でミシン加工、その他の加工も含め、全てを下請け縫製業者に任せる同業他社が多い業界の中では、稀な例であり、様々な面で一貫生産体制によるMERITを発揮しております。

4. 物づくりの原点は「メイドインミツカイドウ」

(葛田) 地域と御社との関係性ということを少し伺いたいのですが。

(北村社長) 当社のご先祖は近江商人です。確か谷田部かあの辺にお坊さんとして入られた住職さんがいて、その方の末裔がこちらの地に居を構え商売をはじめたようです。ここ水海道は、かなり歴史のある古い町です。私も小学校のPTA会長とかもやりまして、父親もやりましたけれども、昔からの文教地区だったのです。女子のための寺子屋の日本の第一号がこの地にできたという話も聞きました。水海道小学校は伝統のある小学校でして、古い校舎が文化物として水戸市に移設・保存されております。あの“スタインウェイ”というピアノのかなり若いナンバリングがしてあるピアノが置いてあったくらいです。当時の町の有力者達が寄贈したと聞いています。

私の父親は、商工会の会長とか、労働基準協会の会長とか、いろいろ公職に就いていました。私もこの地のロータリークラブの会長をやらせていただいています。メンバーさんからは、「キタムラさんのところは歴史があるからね」という話をよく伺います。昔から商工業の盛んな町でしたが、地場で物を作っている会社は本当に減っているので、生え抜きの製造業として平穩無事に経営する大変さとともに、長く続けられている誇り、有り難さをご先祖様に感じてお

ります。“継続は力なり”の意味を実感しているところです。

(葛田) 後継者に伝えていきたいこと、従業員に伝えるものを承りたいと思います。

(北村社長) 精神的な話になると大変奥が深くなるので言葉にするのは難しいのですが、おかげさまで業界によっては世の中への影響力が大きい存在になりつつありますから、「真面目にやれよ」というのが後継に伝えたい第一の信条です。第二は、「我が社がなくなると、ある業界は大変なことになるよ」という自負・誇りを持って仕事をするということです。人様が喜ぶ顔を見たいと思う心です。大袈裟な話ですけども、全世界から見ても日本という国がこれからも衛生的で、安全・安心という地位を維持できるように、食生活を守らなければなりません。そのためにどうする、何かをするという話になると少し難しいかもしれませんが、結局のところは真面目にやれよ、真剣にやれよ、日本人としての矜持をもって仕事をしようよ、という話になってくるのだと思います。

(葛田) このような領域については、あえて関わらないとか、あるいは踏み込んでみたいなど、あるのではないかならないかと思いますが。

(北村社長) ネットで物が買えてしまう。あのような分野にも参画出来ないか、ということで色々模索はしています。例えばですが、反物というのは、ロールで百センチといえば、百センチの幅の反物が出来上がります。丸や四角、三角などの、色々な形・ものを取ったときに余り物の端切れが出ます。従前は廃棄してきましたが、今は環境保全が大切です。再生の必要性はもちろんです、無駄をい

かに減らしていくか。捨てるものを減らしていくかが、重要な課題と思っています。

お客様からお問い合わせがありました。「キタムラさん、使用済み品を産廃として捨てるのではなくて、何か方法はないでしょうか？」というご要望を頂いたこともあります。土にかえるような合成繊維はないか、方法は無いかと開発も色々模索してみました。その様な糸はコストが高い、ということはお客様に納得頂き目をつぶって頂くとしても、強度が弱すぎて使えないということで、ボツになったケースもあります。

取り終わった生地はくず布となっていますが、廃棄している布を、何とか、個人使用向けに出来ないかということも考えています。B to Cの商流です。今はやりのちょっとしたトートバックなどですね。こういうことも視野に入れていきます。

(葛田) 物づくりに最も大切なことをお聞きします。

(北村社長) メイドインジャパンの誇りを持って物づくりをすることです。誇りだけでは食べていけないですが、誇りある技術を提供する心構えが今後一層求められます。また、技術を提供するための基盤になるものは経験と設備です。濾過布の選択時において、濾過するものに適応した素材を選ぶことは必須です。物理的、化学的な適応性ととともに、熱や引張に対する抵抗性能・寿命を考慮しなければなりません。的確なものを提案できる経験とスキルの積み重ねがユーザーへの安心提供につながるものと確信します。私どもの物づくりの原点は、この地、水海道つまり MADE IN MITSUKAIDOU です。

会員の体質強化に繋がる事業を実施

県政への提言・要望書の提出を承認

当協会は、10月7日(水)、水戸市・京成ホテルにおいて、本年度**第3回理事会**を開催した。

寺門一義会長（㈱常陽銀行取締役会長）はじめ理事、監事、参加者が出席した。

冒頭、寺門一義会長が挨拶に立ち、「本日は期初のお忙しい中、そしてコロナ禍予断を許さない中、第3回理事会にご出席をいただき誠にありがとうございます。経協の事業については、本年度は、「第9次中期運営要綱」の初年度であり、「会員、地域、時代からの要請に応え、会員企業と地域経済の持続的発展に貢献します」という基本方針に則り、様々な活動を展開しております。

新型コロナウイルス感染防止のため、一部事業をウェブ配信や書面表決で対応しておりますが、9割方、計画通りの実行がなされており、改めて会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

現在、コロナ禍で明らかになった「企業の経営基盤の脆弱性やデジタル化の後進性」の課題に対応する施策を事務局で取りまとめていますが、これを含めて下期の施策展開については、会員の皆さまの体質強化に繋がる事業を実施して参りたいと考えております。引き続きのご協力、宜しく願いいたします。

また、会員増強運動については、現在1,245社と、全国有数の会員数となっております。この状況下でも会員数を維持できているのは役員の皆様のご協力のおかげです。

本日の理事会では、上期の事業活動報告と県政への要望などについて審議いただきますので、忌憚のないご意見をお願いします」と挨拶。

次に寺門会長が議長となり以下の議案が報告・審議され、それぞれ承認された。

- ① 令和2年度上期事業活動報告（会長、専務理事の職務遂行状況報告）
- ② 令和2年度新会員の入会の承認を求める件
- ③ 茨城県政への提言・要望案について



宮本製作所・宮本社長

特別講演として、「Mr.マグネシウム」の異名を持ち、洗たくマグちゃんの大ヒットでも有名な、株式会社宮本製作所代表取締役社長の宮本隆氏より「ジリ貧だった町工場が「世界を変える」挑戦者に」と題し、夢を持ち、信じ続ける事の大切さ、マグネシウムの可能性についての講演があった。

終了後、本年度の新会員を招いて、各社の自己紹介を内容とする新入会員歓迎交流会を開催、盛会裏に終了した。

政策委員会

理事会提出議案等について検討、委員の意見交換も

10月7日(水)、第2回政策委員会(正副会長・各支部長・各委員長等主要役員会議)が水戸市・京成ホテルにて開催され、会務報告、新規取組み、理事会提出議案として上期事業報告、県政要望・提言案などについて

意見交換が行われた。

寺門一義会長の挨拶のあと、関正樹副会長が議長となり議事を進めた。

会務報告では、会員状況、会計状況、行政の動向などが加藤専務理事より説明があった。

理事会提出議案の①令和2年度上期事業活動の報告と下期の主な計画、②令和2年度新会員の入会の承認を求

める件、③経協としての「県政に関する要望案」について事務局より説明があり、理事会への提出が了承された。

また、会員の生産性、収益性向上を支援するための新規取組み事項として、①パートナーシップ構築宣言②デジタル化、IT化支援、③茨城大学との共同研究、④相談機能の強化「士業ネットワーク」、⑤採用支援サイト「イマカラナビ」の内容説明があり、承認された。

その後、副会長から近況報告がなされた。



産業政策委員会

第2回産業政策委員会を開催

産業政策委員会(委員長 櫻井直之氏(株)小松製作所執行役員生産本部茨城工場長)は、10月5日(月)、ホテル・ザ・ウェストヒルズ水戸において、第2回産業政策委員会を開催した。

産業政策委員会では、櫻井委

員長をはじめとした新規委員参加者の6名の自己紹介から始まり、令和2年度の県政要望書提出に係る活動状況について、ならびに、新規事業として取組む予定である事例研究会についての協議等がなされた。

今後の県政要望書の提出スケジュールについては、10月7日での政策委員会にて要望書内容についての最終承認を受けた後、10月下旬での茨城県産業戦略部長への要望書の提出を予定している。

環境委員会

ISO14001内部監査員養成研修会を開催

環境委員会(委員長 荒井徹氏 キヤノンエコロジーインダストリー(株)代表取締役社長)は、茨城県産業会館にて、10月13日(火)~14日(水)、ISO14001内部監査員養成研修会を開催した。

当研修会は、ISO14001の認証取得を目指している組織の方、または内部監査員の養成を必要

としている組織の方を対象に、規格の概要から監査の実務までを学ぶ2日間の通学研修として開催し、特に内部監査員として必要な監査技法を習得することに力をいれている。

講師には、ISOの入門から活用までをサポートするセミナー業務と、審査業務を実施してい

る(株)品質保証総合研究所(JQAI) ISO14001主任審査員の中井邦治氏をお招きした。

受講者は、講師による解説とロールプレイングにおいて監査側・被監査側の立場を体験しながら理解を深め、受講者全員が修了テストに合格し、修了証書を授与された。

経営教育委員会（委員長 篠原智氏（株）筑波銀行代表取締役専務）は、10月16日（金）に「労務課題解決セミナー 第1講」を開催。テーマを“離職を防ぎ、採用力を高め、定着率を上げる3つの秘訣”とし、計15名の参加を得た。

講師には、株式会社ライフ・アンド・シード 代表取締役

人材開発トレーナー・組織改革コンサルタントの中野美加氏をお招きし、

- ・従業員のエンパワメントのためのモチベーション
- ・従業員のエンパワメントのための人間関係
- ・採用向上・離職防止・定着向上の対応について、グループディスカッションを含

めたご指導を頂いた。

参加者アンケートでは「ラブベースの理解が出来従業員のエンパワメントから相手の性格を理解して進められると思う様になりました。」「話の内容から若い係長の伸び悩みの解決について決断出来ました。」といった感想が寄せられていた。

青年経営研究会

例会を開催

青年経営研究会（会長 藤澤昭彦氏（株）霞ヶ浦観光ホテル代表取締役）は、例会を開催した。例会では、日本の魅力発掘委員会（委員長 鈴木孝昌（株）セイキョウ 代表取締役）のメンバーが企画&運営の主体となり、事業が進められた。

今回の例会では、初日に笠間市に所在する「須藤本家(株)」を訪問し、同社代表取締役の須藤源右衛門氏より、「日本最古の酒造企業における伝統の保持と革新～当社のこだわりと日本酒の新たな魅力発信～」と題するお話をいただいた。

須藤氏より「当蔵は、樹齢

800年以上の樺の木々に囲まれていることから、地元では古くから“杜の蔵”として親しまれております。家訓は“酒・米・土・水・木”。良い酒は良い米から、良い米は良い土から、良い土は良い水から、良い水は良い木から、良い木は良い酒にリンクする。“木”は我々に必要な酸素を出してくれることは勿論のこと、近隣に木陰を作り、酒蔵を強い夏の暑さから守ってくれます。自然を守るのは代々の当主の役目であり、先祖が守り伝えてくれた様々な酒造りの文化や技術、伝統、家訓は何ものにも代え難い貴重な財産であり

ます。日本で初めて“生酒”、“冷やおろし”を出したのは当蔵であり、逸早く、酒米、高精白にこだわった酒蔵でもあります。また、海外進出も早くから取組み、海外での評価は当初から高い評価をいただいております。今後も酒の本質的な価値を追求し続けます」と力強く革新的に進化しているお話をいただいた。

翌日には、ゴルフ場設計の巨匠、井上誠一氏が最後に設計した“スターツ笠間ゴルフ倶楽部”にてコンペを開催し、メンバー間の親睦を深め散会した。



11月10日(火)、茨城県産業会館にて国立大学法人茨城大学の協力と茨城産業会議の後援を得て、いばらき塾特別編を開催した。WEB受講者を含め、44名が参加。これまでの“いばらき塾”は、茨城県への知識・理解を深める内容で開催してきたが、昨今の情勢を踏まえ、今回は特別編として、新型コロナウイルスで今起きている事、またポスト・コロナ時代を生きるために必要な生活様式、気候変動対策を取り上げた。

当日は、茨城大学教育学部の上地勝教授から「新型コロナウイルスと疫学的に見る“新しい生

活様式”」、茨城大学前学長であり、地球・地域環境共創機構(GLEC)の三村信男特命教授から「新型コロナウイルス問題と気候変動対策」と題し、講演いただいた。

上地氏は、感染症やパンデミックについて解説、「新型コロナウイルスの感染防止には予防が大切であり、①手洗い、②マスク、③距離を地道に守る事が大切だ」、三村氏は「気候変動は年を追う毎に加速しており、脱炭素社会の実現は世界の潮流となり、企業活動にも影響を与えている。多様で複雑なリス

クに対する強靱な社会の構築、新しい時代を生きるための考え方が求められている」と具体的事例を挙げて解説された。

アンケートでは、「気候変動について、大変勉強になりました」「感染症に対する認識を新たにすることができ、とても有意義な時間でした」などの感想が寄せられた。



支部だより

NOV. 2020

Branch office report

県北地区支部

支部総会・講演会を開催

県北地区支部(支部長 津村昭洋氏 (株)茨城サービスエンジニアリング代表取締役社長)は9月25日(金)、「五浦観光ホテル別館大観荘」(北茨城市大津町)にて、令和2年度県北地区支部総会・講演会を開催した。参加人数は41名。

当日は村田文彦幹事(株)五浦観光ホテル代表取締役副社長の司会進行のもと、はじめに津村



支部長が「開会にあたりまして、ひと言ご挨拶をさせていただきます。本日は令和2年度の支部活動計画につきまして、この後お諮りをさせていただきます。支部活動計画につきましては、明智幹事よりご説明させていただきますが、会員のみなさまにおかれましては、支部活動に際しまして、何卒ご協力を頂きたく、お願い申し上げます。また、本日の講演会には、株式会社双日研究所の吉崎様をお招きし、ご講演いただきます」と挨拶を行った。

議事では、令和2年度の県北地区支部活動計画および経営者協会の重点項目が報告された。まずはじめに、

明智健太郎幹事(明和電気(株)代表取締役社長)が、令和2年度支部活動計画を説明し、満場一致で承認された。続いて、加藤裕一専務理事が、経営者協会の重点項目について説明した。

その後の講演会には(株)双日研究所のチーフエコノミスト・吉崎達彦氏をお招きし、「アメリカ大統領選挙の行方～経済・マーケットに与える影響とは?～」を題にお話いただいた。新鮮かつ詳細なデータの分析結果と、わかりやすくユーモアに富んだ話しぶりは、聴講者から大変好評だった。

講演会終了後は、昨今の情勢を考慮し、懇親会を行わず散会した。

慶事のお知らせ

本年度秋の叙勲・褒章受章者が発表され、下記の方々が受章されましたのでご報告致します。

【旭日小綬章】

秋山 光伯氏

株式会社秋山工務店 代表取締役社長

日立商工会議所会頭

【黄綬褒章】

萩原 康成氏

萩原酒造株式会社 代表取締役社長

支部共通事業

新入社員フォローアップセミナーを開催

去る10月8日(木)(土浦会場)、9日(金)(水戸会場)の両日、支部共催事業「新入社員フォローアップセミナー」を開催した。参加者は2日間延べ50名であった。本セミナーは、4月に開催した新入社員セミナーで学んだことが理解、定着、行動出来ているかを確認するもの。講師は4月開催セミナーと同様に、(株)ヒューマン・ブレンディの田寺尚子氏にお務め頂いた。

本セミナーでは、特に年初からの新型コロナウイルス感染症拡大により、4月入社の新入社員への教育の面でも当初計画から大きく変更を余儀なくされた企業が少なくなったことから、本来であれば4月に実施すべきであった社会人として必須の基礎知識についても研修の内容とした。

研修では、社会人として必須の基礎知識である言葉遣い、電話対応、報告・連絡・相談、伝え方等、について理解し、行動に移せているかを確認した。業種、職種の異なる参加者が約6ヶ月間の社会人経験を経て再開し、全員が参加するロールプレイを通じて、自己と他者の成長度合いを確かめ合う研修となった。

新入社員セミナーおよびフォローアップセミナーは次年度も開催の予定。



心を込めて、信頼できるカーライフ
茨城トヨタ

HARRIER



ハリヤー Z "Leather Package" / Z HY 2WD

茨城トヨタ自動車株式会社

水戸市千波町 1887 〒310-0851

TEL 0120-090110

<https://www.ibaraki-toyota.jp/>

START YOUR IMPOSSIBLE  TOYOTA

令和2年度 特定（産業別）最低賃金が決定 （鉄鋼業、電気・精密機械、一般機械、各種商品小売業の各業種で2～3円増額改定）

茨城県内で働く労働者に適用される茨城県最低賃金（略称＝県最賃、地域最賃）は、**時間額851円（対前年＋2円）**となり、既に発効されている。

地域最賃を補完する意味で設定されている4業種の特定最低賃金について、茨城地方最低賃金審議会（田中泉会長）は、関係労使からの意見聴取、賃金実態調査結果等を検討して、本審議会において、改定の『必要性有り』を答申し、専門部会を設置して9月28日より金額審議を行った。

各業種の専門部会は、鉄鋼業が10月22日に、一般機械器具製造業と各種商品小売業は10月23日に、電気・精密機械器具製造業は10月26日に結審し、下表の通り時間額を決定し茨城労働局長に答申した。

専門部会の金額審議で、新型コロナウイルス感染症拡大による現下の雇用、経済、労働者の

生活への影響が小さくないこと、中小企業、小規模事業者は厳しい環境におかれているということからすると、雇用の維持は最優先である前提の下、鉄鋼業では、厳しい経済状況であるからこそ、未組織労働者の賃上げを、底上げを図っていく必要性を主張する労働者側に対し、使用者側は、新型コロナウイルスによる世界的な需要の落ち込みなど鉄鋼業界の厳しい経営環境とを主張した。最終的には945円（現行＋2円）の公益見解が示され、全会一致で結審した。

一般機械製造業では、労働者のモチベーションを上げるという観点から、どうしても引上げたいと主張する労働者側に対し、使用者側は、コロナ禍の状況で雇用維持は大変厳しいと主張した。最終的には907円（現行＋2円）の公益見解が示され、全会一致で結審した。

電気・精密機械製造業では、

労働者側は、県内他業種や隣県との格差是正のために引上げが必要と主張、使用者側は、景気の状態は休廃業、解散が増加しており、景況感も幅広い産業で悪化、特に中小零細企業では非常に悪いと主張した。最終的には904円（現行＋3円）の公益見解が示され、使用者側反対、公益及び労働側賛成で答申を報告した。

各種商品小売業では、エッセンシャルワーカーとして日々不特定多数の人と接する従業員に対する引上げを主張する労働者側に対し、使用者側は、百貨店の売上げ減など、経営面で厳しい環境にある中、雇用の維持が最優先を主張した。最終的には874円（現行＋3円）の公益見解が示され、使用者側反対、公益及び労働側賛成で答申を報告した。

4業種とも労使の主張の隔たりが大きく、据え置きではなく有額での決定となった。

令和2年度 茨城県特定（産業別）最低賃金

		県最賃 (地域最賃)	鉄鋼業	一般機械 器具製造業	電気・精密機械 器具製造業	各種商品 小売業
改定前	時間額(円)	849	943	905	901	871
	※未満率%	1.60	2.55	4.43	2.75	50.20
増加額	時間額増額	2	2	2	3	3
	(同上増加率%)	0.24	0.21	0.22	0.33	0.34
改定後	時間額(円)	851	945	907	904	874
※	影響率(%)	7.5	2.6	8.3	8.3	83.3
	適用労働者数(人)	1,109,800	8,744	33,942	30,138	4,822
	効力発生(予定)日	10月1日	12月31日	12月31日	12月31日	12月31日

最低賃金・基礎用語

県最賃＝地域最賃・・・茨城県内で働く全ての労働者に適用される最低賃金額

特定最低賃金・・・特定の産業の労使が、地域最賃より高い最低賃金が必要と認める場合に設定する。

未満率・・・現在設定されている最低賃金を下回っている労働者の割合。

影響率・・・最低賃金を改定した場合、その改定後の最低賃金を下回る労働者の割合のこと。

※ 未満率、影響率は全労働者に占める率ではなく、最低賃金基礎調査対象労働者に占める割合

持続的な感染対策を検討する事業主の皆さま

テレワークや時差出勤など

新しい働き方と労務管理のポイント

新型コロナウイルス感染症への感染を防止するためには、日常生活のなかで「密閉・密集・密接」の「3密」を避けることが大切です。

「3密」を避ける職場づくりのため、新しい働き方の導入をご検討されている皆さまに、ニーズに合った働き方と労務管理のポイントをご案内します。

新しい働き方 その1 出社せずに在宅等で仕事をする

職場や通勤時の接触機会を減らすため、自宅などを就業場所とする働き方が考えられます。

■テレワーク が適しています

テレワークは、情報通信機器を活用して、本拠地の勤務場所から離れた場所で仕事をする働き方です。終日の在宅勤務だけでなく、1日の一部を在宅勤務で行う「部分在宅勤務」等を導入している企業もあります。

●テレワーク●

労働基準法上の労働者については、テレワークを行う場合においても、労働基準関係法令が適用されます。

働く場所や時間を有効に活用する柔軟な働き方が可能となります。

テレワークを行う場合にもフレックスタイム制や事業場外みなし労働時間制を採用できます。

【テレワーク総合ポータルサイト】

テレワークに関するさまざまな情報をご覧いただける厚生労働省のポータルサイトです。



■「情報通信技術者を利用した事業場外勤務の適切な導入及び実施のためのガイドライン」(平成30年2月22日策定)

テレワークにおける労務管理上の留意点を明らかにしたガイドラインです。

テレワークにおける適正な労務管理を行うため、参考にしてください。



・テレワーク従事者への「労働条件の明示」「労働時間制度の適用と留意点」「休憩時間の取扱い」「時間外・休日労働の労働時間管理」などについて解説しています。

 厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署

新しい働き方 その2 就業時刻などが柔軟な時差出勤を導入

通勤時の接触機会を減らすため、始業・終業時刻をずらすなど、労働日ごとの労働時間を柔軟に組み合わせが考えられます。

■フレックスタイム制 が適しています

フレックスタイム制とは、労働者が日々の始業・終業時刻、労働時間を自ら決めることにより、仕事と生活の調和を図りながら効率的に働くことができる制度です。

●フレックスタイム制●

「就業規則の定め」と「所轄労働基準監督署への届出」が必要です。

コアタイムを設定し、定例会議などをそのまま維持することもできます。

通勤電車も空いているし好きな時間に働けるから集中できる！



↑「フレックスタイム制」の分かりやすい解説＆手引書」はこちら

新しい働き方 その3 「週休3日制」など出勤日数を減らす

職場での接触機会を減らすため、週休日を増やすなど、労働日や労働時間の組み合わせを見直すことが考えられます。

■変形労働時間制 が適しています

変形労働時間制とは、一定期間を平均して、1週間当たりの労働時間が40時間を超えないことを条件として、労働時間を配分することを認める制度です。

●1年単位の変形労働時間制●

「労使協定の締結」と「所轄労働基準監督署への届出」が必要です。

1か月を超え1年以内の期間を対象に導入することができます。

週休3日制なら仕事と休みのメリハリについて提案もアップしよう！



↑「1年単位の変形労働時間制」についてはこちら

取引先との業務における精神的負荷を原因の一つとして業務起因性が認められた例

宇和島労基署長事件
福岡地裁 令和元・6.14 判決

【事件の概要】

Aは、養殖業者に対する魚薬の販売業務に従事していたところ、平成26年2月7日、出勤後の営業車内において意識不明の状態で見られ、同日心室細動を原因とする急性心不全により死亡した。

Aの妻であるA'が、宇和島労働基準監督署長に対し労災保険法に基づく支給請求をしたところ、不支給とする旨決定されたため、かかる決定の取消しを求めて訴えを提起した（なお、かかる決定に対する審査請求、再審査請求のいずれも棄却された）。

【判決の要旨】

1、短期間の過重業務の有無について

Aは発症前1週間で約28時間の時間外労働があったが、発症5日前には休日も確保されており、他の時期

と比較して特に過度の長時間労働とはいえない。発症前2日間の取引先における消毒作業は、営業職のAにとって厳しい作業環境であったが、月に数回は同作業に立ち会っていたことから、普段の業務と全く異質の業務とはいえず、精神的緊張が著しいとはいえない。したがって、短期間の過重業務をしていたとは認められない。

2、長期間の過重業務の有無について

Aの発症前6カ月の時間外労働は月平均70時間前後と相当な長時間であり、さらに、死亡直

前に厳しい作業環境での消毒作業を行っていたことから、業務と発症とは相当程度の関連性がある。

加えて、Aの営業成績の大部分を依存している取引先の社長が、競合他社の担当者を叱責し出入り禁止にしたうえで取引量を減らし、これに伴いAの業務負担が増加したものの、上司から営業員の増員を認められなかった状況から、Aの精神的緊張は例年に比して相当大きくなっていった。

したがって、Aの業務は、長期間にわたり肉体的・精神的負荷の大きい状況にあったのであるから、明らかに業務以外の原因により発症し

発症前6カ月平均約70時間の時間外労働に加え取引先との業務における精神的負荷が例年に比して大きくなっていったことから業務起因性が認められる

た等の特段の事情のない限り、急性心不全発症に業務起因性を認めるのが相当である。

3、業務以外の要因の有無について

Aは、脂質異常症等複数のリスク

ファクターを抱えていたうえ、脂質異常症の投薬を自己判断で中止していたが、これらが心室細動の発症に与えた具体的影響は不明であり、明らかに業務以外の原因により発症したとはいえないから、業務起因性は否定されない。

【日本経団連労働法制本部】

判決について詳細は、経団連事業サービス発行・労働経済判例速報第2391号をご参照ください。

偏屈爺の甘辛放談⑨

米大統領選にもの申す

＝民主主義を守り抜け

11月3日、投開票で行われた米大統領選は最後の最後までもつれたが、民主党のジョー・バイデン前副大統領が、再選を目指したトランプ大統領を僅差で破り、今後よほどのことがない限り新大統領に就任することが決まった。よほどのことがない限りと断ったのは、トランプ陣営が選挙結果に異議を唱え法廷闘争も辞さないとの姿勢を示しているからである。

それにしても民主主義を標榜する米国において、ここまでもつれ、国民を分断に追いやったトランプという人物には、政治家以前に一人の人間として疑義を抱くのは筆者だけであろうか。ましてや、それが世界をリードすべき超大国の指導者であるべき立場の人間である。トランプの登場は、米国はもちろんのこと世界中に指導者の在り方を考えさせる大きな契機となった。つまりは、かつてのナチス・ドイツのアドルフ・ヒトラーを誕生させたのも当時のドイツ国民であったし、黒人初のオバマ大統領と白人至上主義を標榜するトランプ大統領を誕生させたのも同じアメリカ国民であるという現実を、私たちはもう一度厳粛に受けとめ考える必要があるだろう。

■政治家の劣化が分断招く

今回の米大統領選の最大の焦点は、「米国第一」を掲げ、国内外に波乱を巻き起こした共和党のトランプ大統領の続投の有無を米国の有権者がどう判断するのか。つまりはトランプ政権のこれまでの4年間が問われる選挙であった。

「米国第一」主義のもと、就任直後のTPP離脱など多国間の枠組みから次々と離脱を表明。前大統領のオバマの政策を手当たり次第白紙に戻した。新型コロナ対応では経済活動を最優先し米国の感染者数、死者数を世界最多に押し上げ、自らもコロナに感染した。そして自身は世界最先端の治療でコロナを治癒し、選挙戦に復帰してからは再び感染爆発に至る事態を招くような行動を続けた。さらには自らの人種差別を助長する数々の発言から、米国内では白人至上

主義が台頭、警察官による黒人射殺事件が相次ぐなど社会の分断が深まっていった。

そうしたトランプの暴挙の下、今回の大統領選ではかつての南北戦争時代を想起させるほどの国内の分裂を招き、国民は自らの身を守るため銃を買い求め、暴動に備えてショーウィンドウに板を張り付けるなどの自衛に走らせた。これがすべて自由主義世界のリーダーと言われた米国の現在の姿なのである。

そうした米国の分断、迷走を中国やロシアが横目で見やり、あわよくば米国が混乱し、国力が衰退することを願っていたとしたらますますやりきれない。世界の指導者、政治家の劣化、ここに極まれりといったところだ。(そうではないと思いたいのだが)

さらに言えば、トランプの今回の大統領選の開票作業中の見苦しい醜態には呆れ茫然とさせられた。そしてあらためてこんな人間が超大国の指導者であったこの4年間、世界を混乱に陥れ、その間隙をぬって中国、ロシアなどに傍若無人な台頭を許してしまったのではないのか。

■学者としての矜持を示せ

一転、日本に目を向けると国会では日本学術会議の任命問題で与野党が論戦を繰り広げている光景にため息をつかされた。日本学術会議があくまで独立した機関を提唱するというのなら、国のひも付きでなく独立した民間組織になればよいだけのことである。そして、それは会員が一人年間2000円の予算を払えば今の国の補助金10億円になるというではないか。それで学問の独立性を守り、歯に衣着せず政府への提言、批判ができるのならその道を選べばよいだけの話である。

今回のコロナ禍は世界の指導者や政治家の劣化を私たちに見せつけてくれたが、学識・有識者も同じだとは思いたくない。今こそ政府のひも付きから脱して学者としての矜持を示してほしい。

茨城新聞社
社史編纂委員
元論説委員長

おぬま たいら
小沼 平氏

「県内と海外をオンラインでつないでコロナ禍でも茨城を元気に」

日本貿易振興機構(ジェトロ)茨城貿易情報センター
所長 木ノ本知弘氏

「おっ、きれいだな」。会場に設置したスクリーンに店頭の梨が大きく映し出されると、JA常総ひかりの会場内からは安堵とも感嘆とも言える声が漏れた。

ベトナムのホーチミン高島屋に店舗を展開する「スターキッチン」で実施中の下妻産梨のフェア会場と、梨生産者やJA、茨城県や下妻市など主な輸出関係者をオンラインでつなぎ、ベトナムへ渡航できずとも生産と小売りの関係者が直接やり取りできる環境をジェトロが提供した。

茨城にいながらにして海外各地とつながることができるデジタル技術の活用は、コロナ禍でも県内の製品の魅力や企業の強みを世界中に直接発信する手段として、ますます重要性が高まっている。

＜渡航できずとも海外での販売の手は止めず＞

もともと下妻市の産地としては、店頭で輸出梨の良好な状態を維持して高い品質をアピールし、3倍の価格差が生じる韓国産梨との違いを明確に打ち出すべく、ベトナム側販売スタッフへの指導が不可欠であると考えていた。そのためにもベトナム

への渡航を重ねる計画であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって計画の見直しを迫られた。

そこで、産地のこだわりを現地販売スタッフに直接伝える手段として、オンラインのメリットに着目。下妻とベトナム間で今季の梨の収穫状況や販売動向などを相互に確認することにより、課題の発掘と解決を通じて輸出増・販売増、さらには梨を通じた両者の意識の深化から下妻とベトナムの関係強化を目指した。

＜オンラインで越える壁＞

この結果、現地スタッフには幸水やあきづきなどの品種の違いが認識されていないことがわかった。また、梨の最適な保存方法や食べごろの見極め方などについて生産者への質問が相次いだ。店頭における消費者の嗜好把握が輸出対象品種の検討に有効であることから、JA常総ひかりの責任者は「これからも生産者と販売者が一緒になってベトナムで選ばれる梨を目指したい」と、意気込みを語った。

従来、海外現地の消費傾向は海外バイヤーから得られる情報

に頼っていたが、オンラインでは、小売りの現場で最新の情報を直に確認できるメリットが産地にはある。

ほかにも、オンラインだからこそ、従来の経費をかけずに物理的な距離を越えて、海外にパートナーを求める県内企業の例がある。

＜届け、茨城から世界中へのアプローチ＞

つくば市のバイオベンチャー、アクションリサーチ株式会社は、本年8月にエストニアで開催されたテックイベント「Latitude59」でリモートによるピッチプログラムを実施した。遠くエストニアまで渡航せずとも、同国はじめ欧州のベンチャーキャピタルやスタートアップ関係者とのネットワーク構築がオンライン上で可能であり、同社は世界中で開催される同種のピッチイベントに参加して海外パートナーの発掘に積極的だ。

withコロナの時代、対面型で海外とのビジネス関係を発展させることの限界には触れるまでもないが、デジタル技術の活用によって、従来以上に深く、また広く効率的に海外との接点を築く県内事業者の取組みは心強い。モニター越しのコミュニケーションにはオンラインならではの難しさがありつつも、対策を講じて一歩踏み出せば、茨城と世界はより強固につながることができるかと確信している。



10月29日、JA常総ひかり下妻地域営農経済センターに集まった生産者ら輸出関係者がホーチミンでの下妻産梨の販売動向について確認した。



Latitude59の様子

9月2日付エストニア発「ジェトロビジネス短信」関連記事
※右側のQRコードからジェトロの無料記事をご参照ください

セッション「日本のエコシステム拠点とニューノーマル時代のイノベーション」に関する公式YouTubeのオンライン配信ページ
※右側のQRコードからご視聴ください

8月28日、つくばからピッチイベントに登壇したアクションリサーチ株式会社の佐藤友美代表取締役 CEO&CTO (写真右)。写真左はエストニアのイベント進行役。

地域作りのポイント4

茨城NPOセンター・commons 代表理事 横田 能洋氏

常総で実践してきた地域づくりのポイントの4回目になります。

前回紹介した自主防災と合わせて取り組んでいるのが災害で増えた空き家の活用です。もともと公民館などが無い地区で唯一集ってお茶のみができた場がファミリーレストランでしたが、水害で閉店してしまったのです。そこで空き家でコミュニティカフェをつくろうと考えました。また地域には高齢世帯や一人暮らしの世帯も多いのですが、高齢者がふらっといける居場所や、一人暮らしが不安になったときに施設に入るしかないとせず、誰かに助けてもらえる共同住宅を空き家を改修してつくれたら高齢者も住み慣れた地域で最後まで暮らせると思いました。空き家を使って色々な人が集える場をつくり、その拠点に助け合える関係をつくる、これが10番目です。

空き家活用で大事なことは、改修すれば使えそうな空き家探し、その所有者に改修と活用に関する同意をえることです。私たちは元々宿泊施設だった物件で半年居場所づくりを進めたのですが、途中で持ち主の意向が変わったり、借金の抵当に入っている物件では公的補助金での改修ができないことを知り撤退したという苦い経験をしています。

私たちはこれまで復興拠点として3つの物件（建物としては

6棟）の改修をしてきました。どれも床上浸水で1階の床壁を改修しなければならず、住んでいた方が他界され住む人がいない、とか家主が改修費を出せない物件でした。最初の民家は工務店の改修費の見積は500万でしたが、技術系ボランティアの協力も得られたので300万ほどで自主改修ができました。改修後は、支援の教室、NPO事務所、家を追われた人のシェルター、ボランティアの宿泊所など色々な活用をしています。

2世帯用のアパートだった物件は、特徴を持たせようと考え、3世帯のシングルマザーが入居できるシェアハウスとして改修しました。そして一番労力をさいて再生したのが古い診療所とお医者さんの住宅2棟でした。水害から1年後にお医者さんのご遺族の方と連絡がとれ、自分たちで片づけたり改修をするので地域の拠点として活用させてほしいとお願いしました。大きな物件で片づけも大変ですし、戻る予定もないとのことで了承を得ることができました。住んでいた方のご遺族など持ち主が片づけられないでいる空き家については、片づけや改修を申し出ると使わせてもらえる可能性があるがポイント11です。

実際の改修には大変な労力がかかります。そこで大きな力を

発揮してくれたのがボランティアです。栃木の大学のボランティアサークルや、生協のパルシステム、さらに商船三井は新入社員研修で、グループでできる活動として30人くらいで3、4回来てくれました。そういうときに一気にモノを運び出したり、壁の石膏ボードを剥がしてもらいました。ボランティアを依頼する上で大事なことは、改修することでこの場をどんな場所にしたいのかについて青写真を見せることです。診療所の後にある住宅のさらに後には大きな庭があり、古民家の長いえんがわが印象的でしたので、私たちはここをえんがわハウスと名付けました。子どもから高齢者まで多世代の人が集える場にします、診療所はお茶のみができるカフェにします、とパンフを作りボランティアと寄付を募ることにしました。そうした目的があると掃除や片づけ、解体といった作業でも意義が感じられ、片づけてすっきりすると達成感が感じられます。さらにグループで活動してもらう際は必ず地域の婦人会の方の協力で手作りの食事を用意しました。こうした人とのふれあい、達成感のある作業、夢のある改修プラン、を準備することが地域外からのボランティアが3年も続けてきてくれた要因です。

循環回数: 20回、室内圧力: マイナス 5 パスカルを実現する陰圧クリーンブースのご紹介

当社は、ライフサイエンス向け自動化システムの製造、販売及びサービスを事業としております。
 この度、「陰圧クリーンブース」をご紹介致します。

同クリーンブースは、医療機関の発熱外来、検査室及び病室等を陰圧隔離する事で、医療従事者や患者様の新型コロナウイルス感染リスクを低減します。CDC (Centers for Disease Control and Preventionの略称、米国疾病予防管理センター) ガイドラインに示される循環回数 12回と圧力差マイナス 2.5 パスカルを、HEPA フィルターユニットを給気側と排気側に設置する事で十分にクリアーし、ウイルスの封じ込めを行います。

詳細は下記をご参照の上、ご不明な点等ございましたらお気軽にお問合せ下さい。

ローツェライフサイエンス株式会社
 茨城県つくば市松代 1-9-8 Tel: 029-875-9330
<http://www.rorze-ls.com/index.html>

簡易陰圧装置 (診療用隔離装置)
 「陰圧クリーンブース」のご紹介

HITACHI
 Inspire the Next

全世界で新型コロナウイルス感染が拡大するなか、日夜、新型コロナウイルスに感染された方のためにご尽力されている医療従事者の皆さまに深く感謝申し上げます。
 日立グローバルライフソリューションズ株式会社は、
 簡易陰圧装置「陰圧クリーンブース」の販売を5月より開始しました。
 当社では現在、清浄度の高いクリーンな再生医療施設の提供をしており、
 この施設で重要な室圧制御技術がこのクリーンブースに生かされています。



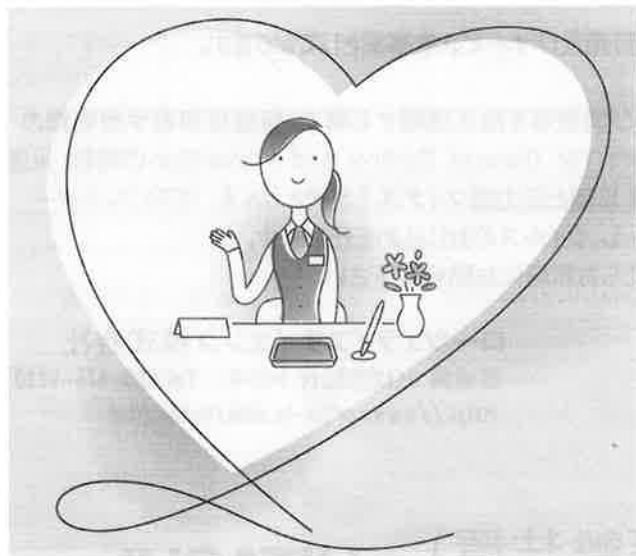
主な仕様

項目	仕様
外形寸法 (mm) (幅×奥行×高さ)	5,500×4,000×2,380 (室内天井高2,120)
循環回数	20回/h
室内圧力	-5Pa 以下
気流	ワンパス方式 (乱流)
FFU (ファン付フィルターユニット)	給気用2台、排気用2台
騒音	60dB以下 (参考値)
電源仕様 (最大容量)	単相 AC100V~240V (50/60Hz) (最大60A)
施工時間	3~6時間/台
海外対応について	UL対応部品を使用

関連ホームページ

<https://www.hitachi-gls.co.jp/products/cpc/negative-cleanbooth/>

人に優しい銀行をめざして



常陽銀行はどなたでも
ご利用しやすい銀行を
めざしています。



常陽銀行

MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

令和2年度キャリア形成サポートセンター事業（本事業は厚生労働省より株式会社パソナが運営を受託しています）

人と組織の活性化を支援します

こんな課題はありませんか？

- 新入社員の主体性・積極性を高め、定着を促進したい
- 育児・介護休職を活用した社員の復職支援をしたい
- 中堅社員のモチベーションを高める施策を打ちたい
- セカンドキャリア支援に何をしたら良いか知りたい

キャリアサポートセンターの支援内容

ジョブ・カードやセルフ・キャリアドックを活用し、キャリアコンサルティングを行いながら、キャリア形成と職業能力開発を総合的に支援します。雇用型訓練の導入支援も承ります。

キャリア形成サポートセンターを活用すると…

採用・マッチング

履歴書だけでは理解しにくい応募者の価値観や強み、キャリアの方向性、職業能力を理解しやすくなります！

人材育成・人事評価

社員一人ひとりの効果的な職業能力開発はもちろん人事評価も可能になります！

モチベーションアップ

将来のありたい姿や目標が明確になるため、能力開発への意欲や働きがいを醸成し定着を促進する効果が期待できます！



社員一人ひとりに対するキャリアコンサルティングを無料※で活用できます！

※本事業は、国の予算の範囲内で実施するため、一定の上限等があります。キャリアコンサルティングが無料になる対象については、キャリア形成サポートセンターまでお問い合わせください。



PASONA

茨城キャリア形成サポートセンター（株式会社パソナ内）
つくば市竹園1-6-1 つくば三井ビル12F ☎ carisapo_ibarak@pasona.co.jp
<https://carisapo.mhlw.go.jp/> ☎ 029-855-3344



HITACHI
Inspire the Next



次の時代に、新しい風を吹き込んでいきます。

時代はいま、新しい息吹を求めて、大きく動きはじめています。

今日を生きる人々がいつも元気でいられるように、明日を生きる人々がいつもいきいきとしていられるように。

日立グループは、人に、社会に、次の時代に新しい風を吹き込み、豊かな暮らしとよりよい社会の実現をめざします。

日立の樹オンライン www.hitachinoki.net

株式会社 日立製作所 日立金属株式会社 日立建機株式会社 株式会社 日立ハイテク 日立グローバルライフソリューションズ株式会社
日立オートモティブシステムズ株式会社 株式会社 日立ビルシステム 株式会社 日立産機システム 株式会社 日立インダストリアルプロダクツ



全国ネットの人材情報で **出向・移籍**をサポート!

全国ネット

全国47都道府県の
事務所で取扱って
おります。

信頼と安心

経済・産業団体と国
の協力で設立された
公益財団法人です。

無料

情報の提供、相談、
あっせんの費用は
かかりません。

登録

在職中の登録が
必要です。



公益財団法人 **産業雇用安定センター 茨城事務所**

〒310-0803 茨城県水戸市城南1-1-6 サザン水戸ビル4階

TEL 029-231-6044 FAX 029-233-3602

URL <http://www.sangyokoyo.or.jp/>

「新型コロナウイルス問題に係る ご相談窓口」の開設について

当協会では、士業会員(弁護士・社会保険労務士・司法書士・行政書士・税理士等)の皆様にご助力をいただき、新型コロナウイルス問題に係る助成金申請等の諸問題解決等、少しでも会員企業の方々のお役に立てればと考え、今回、ご相談窓口を開設いたしました。

つきましては、

- ・ 新型コロナウイルス対応に係る各種助成金のご活用方法のご相談
- ・ 持続化給付金申請についてのご相談
- ・ 各種助成金申請に係る個別相談、申請代行
- ・ 新型コロナウイルス対応に係る従業員の休業や就業規則等の労務管理面のご相談
- ・ テレワーク導入等労務のIT化に伴う就業規則の見直し
- ・ 営業許認可の期限延長措置に関するご相談
- ・ 行政関係手続きの電子申請のご支援又は代行
- ・ 外国人労働者の在留資格等手続きに関するご相談
- ・ メルマガでの雇用助成金等最新情報のご提供

あるいは、その他ご相談につきましても、当会士業会員の方々へのご相談の取り継ぎを行ってまいります。

つきましては、お悩み事がございましたら、事務局宛にお問い合わせ下さい。

本件に関するお問い合わせ先

一般社団法人 茨城県経営者協会 事務局 (池田・澤畑)

TEL : 029-221-5301

FAX : 029-224-1109

E-MAIL : ikeda@ikk.or.jp

<http://www.ikk.or.jp/corona-soudan.pdf>